
b unknown world

魏瑠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

bunknow world

【コード】

N8911G

【作者名】

魏瑠

【あらすじ】

主人公の帝鋼^{みかじはがね}は、ごく普通の中学生でありごく普通の世の中を毎日普通に過ごしていたしかしある日ある女との出会いによって彼のごく普通の日常は消え去った彼の身の回りの人間と共に……。その女は言う『約束を果たしに来たよ』

序、プロローグ（前書き）

この物語は前4部に渡る長編です

第一部「bunknown world」

第二部「鋼の剣」

第三部「collapse future」

第四部「最後の狂想曲」

下手くそな文章ですが最後まで読んでくれたら嬉しいです

序、プロローグ

まるで闇の中にいる感覚だった

手を伸ばしても触れるものはない

足を動かしても前に進めない

目の前に見えるものは何もない

目に映るのは無限の暗闇だけ

世界のすべてが黒に染まっている

感じ取る事が出来るのは、悲しみ 苦しみ 嘆き

この世界には『光なんてない』

『光なんてとどかない』

誰かがそんな事を言った

むしろ誰もがそれを受け入れていただろう

この絶望という絶望を尽くしたこの世界には、光なんてものはもう

ないと

世界を黒く塗りつぶしたその闇は

その世界に住む人間の心をも黒く塗りつぶそうとしたのだ

しかし

『そんな事はありませんこの世に闇を照らす事が出来ない光なんて
ない！それを見つける事だって出来ない訳じゃない』

その一言は全てを変えた

世界の行く手も

人々の考えも

残酷な運命も

これは『光』と『闇』の物語

b u n k n o w n w o r l d

序、プロローグ2

二人の男は巨大な湖の目の前で語り合っていた

一人は傷だらけの甲冑で傷だらけの体を包み地面に座り込んでいる
もう一人も甲冑に身を包んではいるが傷はどこにも付いておらず凜
とした姿で立ち上がり、湖を眺めていた

「なあ、ひとつ聞いていいか？」

傷だらけの男がつらそうに口をあける

「どうした？俺に答える事のできるモノなら答えてやるよ」

もう一人の男が反応をみせる

傷だらけの男はそれを聞き一瞬安心したような笑みをみせ、話を続
けた

「英雄って一体何なんだろうな？って思ったんだ」

その表情は今さっきのような笑みこそは無い物のどこか優しさを帯
びている

「これはあくまで俺の説だが・・・英雄とは普通の人間がどうあが
いても手に入れることが出来ない物を唯一手に入れる事が出来る人
間の事を言う・・・のだと思う」

ところどころに間を入れながら男は答えた

男の視線は動くことなく湖を見つめている

まるで湖に本当の答えを問おうとしているかのように

しかし湖は答えなどしてくれない

もちろんそんな事男は理解している

しかし

なぜか男は悲しそうな眼を湖に向けていた　すると

「あはは、だとしたら俺は英雄なんかじゃない」

「そうか、分からんぞ？『普通の人間がどうあがいても手に入れる事が出来ないもの』の中にはいくつかのモノが当てはまる。それは時に地位であり名誉であり金でありそして・・・世界でもある」

「そう言う問題じゃないんだ、だってそれ以前に俺は何も手に入れてないじゃないか！まあ普通の人間には手に入れる事が出来ない位の傷は手に入れたけどね」

傷の男は明らかに無理をしているとしか思えない笑みを見せながら続けた

「そう・・・なにも手に入れてないんだ・・・俺は・・・」

傷の男は何に耐えられなくなったのか

笑みが涙に変わった

いつの間にか視線を湖から傷の男に変えた男はつらそうな表情をみせる

しかし見せたのは一瞬

男は悲しみに耐えた

男は傷の男の肩に手を置き

「そんな考えではお前は死んだあとあの世で後悔する事になるぞ」

これは一つの物語の終わりであり始まりでもあった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8911g/>

b unknown world

2010年10月9日07時22分発行